

看護師募集

看護部長 鈴木

五稜会病院の目指す精神科看護

当院はこれまでの精神科看護の枠を超え、新たな時代の精神科を創ろうという気概に溢れた病院です。その中で看護師は24時間体制で患者さんの身近にいる最も影響力のある存在であり回復力の鍵となる職種だと思っています。

精神科というと、初めての方は敷居が高い感じを受けるかもしれませんが、基本はどの分野の看護と変わりません。ただ、心の傷ついた、深い精神的疲労のある患者さんには看護師の態度や姿勢、傾聴や言葉かけによって気持ちを元気づけ、考えの修正をたすけ、前向きになれることがあるのです。このような看護師一人ひとりの温かいケアをチームワークによって支え、提供できるような精神看護を当院では目指しています。

看護職を支える体制の充実

そのためには学ぶ事が欠かせません。当院には CNS（精神科看護専門看護師）八木がおり、病棟を超えて困難な患者のカンファレンスに参加を要請し、受け持ち看護師としてコンサルテーションを受けられる体制があります。また、精神科は奥が深い分野ですので、健康を取り戻していく為には、看護師自身の心身が健康である事が最も大切です。当院ではプライマリ看護・患者参加型看護計画を実施していますが、スタッフのストレスケアのためにも、スタッフ同士の信頼関係と学びあいを重視しており、多職種でのカンファレンスやお互いを支援しあう体制を大切にしています。

※昨年入職された看護師の紹介文

私は1度、他の精神科病院で働いた後、心理学部で学び、再び精神科に入職しました。今はうつ病など心の繊細な患者さんが多い病棟で勤務しており、日々の関わりの中で緊張することが多いのですが、明るくユーモア溢れるスタッフの方々に支えられとても楽しく働いています。特に、関心を持っていた思春期ケアチームに入れてもらい、受け持ち看護師として責任をもったケアを目指しています。相談できる先輩たちに恵まれているので一人で抱えこむことなく、学び合える点がとても充実していると感じています。

研修体制の充実にも力を入れています。院内研修では院外講師として大学・大学院の講師や各分野の研修者を招き、看護以外の心理学・福祉学・精神医学の最新の知識を取り入れていくことができます。また、希望推薦によって、院外研修への参加も積極的に勧めています。特に、看護部では定期的な学会発表の実績を積んでおり、受け持ち看護師としてケア体験を深めた結果や職種の異なる方ともチームを組んでケース研究やその成果発表を続けています。また、その土台として看護部では3年前より全員参加型で、自分のケア視

点を深める症例レポート研修を開始し、発表会も開催、学び合える環境づくりを行っています。

精神科が初めての方へ

精神科に初めて勤務をしてみようかと思う方には不安なことがあるかと思われます。当院は、精神科看護のベテラン看護師が多いのですが、中途採用者も多く、精神科が初めての人でも温かいサポートの中で自然と馴染んでいくことができます。

※ 外科経験〇年、昨年入職した A さんからの紹介

「精神科に興味を持ち、思い切って長年勤務した病院を離れて入職しました。私が入った部署は慢性期の患者さんが多い病棟で、看護師はベテランの方が多く、じっくり患者さんの意志を尊重し関わりをしています。スタッフ間の人間関係やフォロー体制がとてもよく、何もわからない私はいつも助けてもらってきました。毎日楽しく勤務しています。」

精神科看護に興味があり、患者さんの健康回復に力を注ぎたい方、また、自分の可能性を伸ばしたい方、心のケアを深めたい方、能力開発を望む方も、一緒にお仕事してみませんか。ぜひ一度お問い合わせください。お待ちしております。

就職を希望される方

電話011-771-5660 までご連絡お待ちしております。

看護部長 鈴木
事務長 田中